平和のこと　みんなで考えよう

身近な日常から考えてみませんか

みなさん、こんにちは。11月に入り、段々と気温が下がってきましたね。家族と温かい食事ができ、眠れることに感謝しながら日々を過ごしています。一方で現状、このような日常を送ることが難しい人も多くいらっしゃることに心を痛めています。

今回は、みなさんも普段から耳にする機会が多い『SDGs』について考えたいと思います。SDGsは、2015年9月に国連で採択された『持続可能な開発目標（**S**ustainable **D**evelopment **G**oal**s**）』のことです。『誰一人取り残さない』を理念に掲げ、持続可能な世界の実現を目指して、2030年を期限とする17のゴールと169のターゲットが定められています。

この17のゴールのうち、16番目に掲げられているのが『平和と公正をすべての人に』です。ここでは、この目標について考えてみたいと思います。

みなさんは、『平和』と聞いてどのような状態を思い浮かべますか？平和というと、戦争や紛争のない状態をイメージする人が多いかもしれません。しかし、SDGsが目指す平和は、それだけではありません。SDGs16『平和と公正をすべての人に』では、

- あらゆる暴力や虐待をなくすこと
- 汚職や不正をなくすこと
- 誰もが法律や行政サービスを利用できること
- すべての人が公的に身分を証明できること

などが、平和で公正な社会を実現するための大切な要素として掲げられています。

世界には、政府の汚職や制度の未整備によって、十分な行政サービスや法的な保障を受けられない国があります。また、出生登録が行われていないために身分を証明できず、教育や医療などの基本的なサービスを受けにくい状況に置かれている人々もいます。

一方、日本においても、児童虐待やさまざまな犯罪、人権に関わる課題などが存在しており、誰もが安心して暮らせる社会の実現に向けて取り組むべき課題があります。SDGsが掲げる『平和と公正』は、国際社会だけの課題ではなく、私たち一人ひとりの身近な暮らしにも関わっています。

例えば、自分と異なる考え方を尊重すること、相手の話に耳を傾けること、公平な立場で物事を考えることなども、より良い社会づくりにつながる大切な行動ではないでしょうか。

誰もが安心して暮らせる社会とはどのような社会なのでしょうか。私たちにできることは何か。SDGs16をきっかけに、身近な日常から平和と公正について考えてみませんか。



よどがわ市民生協の平和への取り組み

昨年、被爆・戦後80年目の節目を迎えました。今年を単なる81年目にするのではなく、協同組合の一員としてみんなで学ぶことが大切と認識し役職員と一緒に組合員も参加できる平和学習を11/14(土)に行います。

内容　①ピースアクションinヒロシマ参加報告
②浅野英男さん（核兵器をなくす日本キャンペーン・コーディネーター）による講演

世界では今も戦争や紛争が続き、核兵器使用の危険性も懸念されています。11月末には核兵器禁止条約第1回再検討会議が開催されます。平和の問題や自分たちのくらしや未来につながる課題として、みなさんと共に考えます。

※学習会の募集は終了しています。

【26年度平和募金報告】

平和募金へのご協力ありがとうございます

平和募金は、よどがわ市民生協の平和の取り組みに使用いたします。

2026年度　途中報告

【3月4回～27年3月3回実施】

65万5,500円

（10月1回時点）



あそびばたけ通信



くらしを共につくる場所 のいえ /noie

機関紙10月号では吹田市高城町にできる新施設の名称が、『のいえ／noie』に決まったことをお伝えしました。投票の際の、みなさんからの投票理由がとても素敵であたたかいご意見がどの名称にも多かったこと、改めてとても嬉しく思います。いただいた気持ちを大切に、みんなで『のいえ／noie』を育てていきましょう。

また、施設の呼称もプロジェクトチームで話し合い、『くらしを共につくる場所』に決定しました。

これから、『くらしを共につくる場所 のいえ／noie』での利用コンセプトをチームで話し合って決めていきます。みなさんの、「あんなことをしたい！」や「こんなことができたら良いな」を、ぜひ一緒にやってみましょう！

建物が着工されるまでの間に、建設予定地では、土地の活用方法を実験しております。イベントも検討していますので、お楽しみに。

地域とともに

これからもずっと応援！　よどまる応援基金報告⑬

「よどまる応援基金」収支報告（単位：円）（期間：2026/6/21～2026/9/20）

収入の部

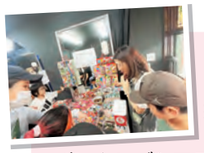
項　目	実　績(円)
前回繰越分	1,218,087
募金(7・8・9月度)	638,500
収入計	1,856,587

支出の部

項　目	実　績(円)
収入計	1,856,587
寄付(※1)(なにわフードバンク"しっかり食べや")	500,000
食材購入代(カレー※2 お菓子・缶詰・レトルト)	269,455
食材購入代(お米)	87,000
残高(※3)	1,000,132

※1：2025年4月に大阪よどがわ市民生協を含む大阪府の生協、他の協同組合、NPO法人などが協同の力を寄せ合って設立した、フードバンクを事業とする法人です。
※2：機関紙8月号で報告
※3：残高の1,000,132円は、次回以降の食材購入代金に活用させていただきます。

みなさまの募金でお菓子・缶詰・カップうどんを購入し、こども食堂などに提供しました！



よどがわ市民生協は、こども食堂やシングルマザー支援団体などを支援する目的で食材を提供しています。『よどまる応援基金』で皆さまから寄せられた募金は、食材提供協定を締結している団体へ提供する食材の購入などに使わせていただいております。今回は田植え・稲刈り体験や『我らよどがわ縁農隊』でもお世話になっている上音羽営農組合さん（茨木市）からお米と、各団体から要望の多い食材（お菓子・缶詰・カップうどん）を約26万円分購入し、いつもの食材とともに各団体へ提供することができました。



購入商品は以下です。
- お菓子（氷菓用キャンデー、わいわいスティックゼリー（コープ商品）、ビスコ、スコーン）
- シーチキン缶詰（コープ商品）
- きつねうどん（コープ商品）



今回いただいたお菓子は、こどもお笑い道場、こどもお笑い防災食堂に通う子どもたちと、こころラボひとり親家庭・ヤングケアラー家庭支援事業の一環として必要とされるご家庭へ配布させていただきました。配布人数が多く、人気であるお菓子の確保に困っていたのでたくさんいただき感謝しております。ひとり親家庭からも「物価高騰で生活が苦しく、お菓子はどうしても後回しになるので嬉しい」との声がありました。いつもあたたかいご支援をありがとうございます。

『こどもお笑い防災食堂（西淀川区）』さん

紙面に載せきれないくわしいお話はこちら



よどがわ市民生協では、今後も地域団体の活動を支えていきたいと考えています。

子ども食堂などを支援できる『よどまる応援基金』についてくわしくはこちらから♪

毎週受付中～♪

●よどまる応援基金のご案内●

子ども食堂などへ安定的に食材を提供するため募金にご協力ください。
※この募金は所得税の寄付金控除の対象となりません。

募金方法　注文書の4ケタ・6ケタ注文欄「001419」に個数（1＝100円）を記入。インターネット注文『eフレンズ』でも募金できます。